

2023年6月14日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

国際交流・異文化体験 特別講義

「インドネシア文化交流会」[ワークショップ]を開催

中部学院大学（学長 江馬諭）ならびに同短期大学部（学長 片桐史恵）は、インドネシア教育大学から、西バンドン市政府首席アングルン奏者の Ardian Sumarwan 氏と7名の学生をお招きし、インドネシア舞踊の「ジャイポンダンス」と同国の伝統楽器「アングルン」のワークショップを開催します。学生は、伝統楽器の合奏と伝統舞踊を通じて、多様性や異文化に触れながら、理解を深めます。

アングルンは、竹から作られた打楽器で、2010年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。講師を務める Ardian Sumarwan（アルディアン・スマルワン）氏は、同国西バンドン市の首席アングルン奏者で、同市のアングルンによるプロモーション活動のプロデューサーを務めたり、国立中学校で指導にあたりたりしています。

今回のワークショップは、本学とインドネシア教育大学が結んでいる学術交流協定に基づき、実現しました。本学にはインドネシアからの留学生も在籍していることから、国際交流を図ると共に、異文化理解を深める機会と位置付けています。また、ここ数年のコロナ禍の状況下においては、合唱やパフォーマンスなど、学生が一緒になって、体験しながら一つのステージを創り上げることができませんでした。今回は、一人一人が奏でる打楽器ではありますが、合奏を通じて協働の大切さを感じたり、音楽を通じたコミュニケーションの取り方を学んだりする機会となることを期待しています。

記

- 日時 2023年6月26日（月）午後1時20分から同2時45分まで
- 会場 中部学院大学 関キャンパス 本館3F グレースホール（関市桐ヶ丘2-1）
- 参加者 [インドネシア教育大学]
Agus Rahayu 学長代理 Bunyamin Maftuh 学長代理
Ayo Sunaryo 文化学科 学科長 Ardian S Sumarwan 首席奏者 ほか
[中部学院大学・同短期大学部]
学生（留学生を含む）教職員 約200人
- 内容 インドネシア舞踊「ジャイポンダンス」鑑賞や同国の伝統楽器「アングルン」の演奏を通して、異文化への理解を深める

【備考】

[インドネシア教育大学 (Universitas Pendidikan Indonesia=UPI)]

1954年10月20日に教員養成を目的とした国立大学として設立。教員養成を目的とし、1つのメインキャンパスといくつかのキャンパスを持つマルチキャンパス大学。日本の大学とも連携しており、毎年多くの日本人学生が留学している。学生数は約34,000人。

【経緯】

2022年6月29日 インドネシア教育大学による
「アンクルン」合奏ワークショップ開催
8月10日 インドネシア教育大学との学術協定締結
2023年3月13日 インドネシア教育大学による
「アンクルン」合奏ワークショップ開催

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 国際交流・留学生支援課 (担当：日比野)

TEL 0575-24-2766

E-mail cgi@chubu-gu.ac.jp